

■ 未来に挑戦するデジタル産業の集積

次世代半導体やデータセンターなどデジタル産業の集積を促進するとともに、本道での未来技術の実証実験を支援します。

(政策展開の方向性)
 次世代半導体の製造に加え、研究や人材育成等が一体となった複合拠点の実現に向けて取り組みます。また、これらを核とした関連産業の振興やデジタル人材拠点の形成に向けた取組を推進するとともに、再生可能エネルギーを活用するデータセンターの誘致による北海道データセンターパークの創出に取り組みなど、本道へのデジタル産業の集積を図ります。未来技術関連のワンストップ窓口を設置し、本道をテストフィールドとした先駆的な実証実験の支援や情報発信に取り組みます。

区分	主な取組	備考 (施策Code)
本道活性化のための科学技術の振興	○科学技術を担う人材の確保・育成に向け、科学体験イベント「サイエンスパーク」を開催(R4.7~8、参加者数1,300人、約30,000アクセス)し、子どもが科学技術に触れ、関心を高めてもらう機会を創出したほか、知事表彰として、科学技術上の優れた功績のあった研究者に対する表彰を実施(R5.2、8名)	0204
デジタル化の推進	○ドローン活用促進に向け、ドローンの冬季飛行実証を行い、ガイドラインを策定(R4) ◇未来技術(MaaS・遠隔医療・ドローン・空飛ぶクルマ等)に関する総合相談窓口を設置 ◇研究・実証段階にある先進的な取組や企業等のニーズなどの調査を行うとともに、道内における実証フィールドの活用を検討【ほっかいどうテストフィールド推進事業】	0219
リスク最小化に向けた企業の誘致推進	○カーボンニュートラルやデジタルトランスフォーメーション、新しい働き方といった社会経済情勢の変化を踏まえながら、トップセールスやセミナーの開催、展示会への出展、企業訪問等を通じ、本道の立地優位性をPRし、誘致活動を実施【セミナー・展示会等(トップセールス含む)~R4:15事業、R3:12事業、R2:8事業、企業訪問~R4:830件、R3:579件、R2:603件】 ○冷涼な気候や豊富な再生エネを活用した、省エネ・ゼロカーボンのデータセンターの本道への誘致を展開するとともに、デジタル関連産業の集積を促進	0504
企業誘致の推進・集積の促進	○自然災害の少なさや人材確保のしやすさに加え、恵まれた食や豊かな自然環境、豊富な再生可能エネルギーといった本道の立地優位性をアピールしながら、トップセールスやセミナーの開催、展示会への出展、企業訪問などの誘致活動を実施【セミナー・展示会等(トップセールス含む)R4:17事業、R3:12事業、R2:8事業、企業訪問R4:830件、R3:579件、R2:603件】 ○苫小牧東部開発連絡協議会及び石狩湾新港地域開発連絡協議会として、当該地域の開発に関する国への要望活動を実施【R5:苫東I回、石狩I回 R4:苫東I回、石狩I回 R3:苫東I回、石狩I回】 ○Rapidus社による次世代半導体製造拠点の整備が円滑に進められるよう、北海道次世代半導体産業立地推進本部や北海道次世代半導体産業立地連携会議を設置(R5.3)するなど支援体制を整備したほか、道民の皆様へ次世代半導体に関する関心を深めていただくためのセミナーや説明会等を開催(R5.4・5・7) ○半導体の製造に必要な不可欠な用排水整備等のインフラ整備について、国、千歳市、Rapidus社と緊密に連携しながら、協議、調整を実施	0508
環境・エネルギー産業の振興	○地域へのコーディネーター派遣により、新エネ導入事業の掘り起こしから実施までを支援【R2:14市町村、R3:31市町村、R4:35市町村】 ○洋上風力発電の導入促進などに向け、地域への理解促進、関係機関による意見交換、国への要望を実施 住民説明会等(R4.12~R5.2:7回)やセミナー(R5.2)の開催 北海道洋上風力推進連携会議(R5.6)の開催 洋上風力発電の導入加速化と関連産業の集積促進等について、国へ要望(R5.6)	0512

※主な取組については、令和5年度基本評価・事務事業評価調書(「○~」)、道ホームページ(「◇~」)より引用・作成